



勅修清規 大石 四

關連科目(必修)  
 宗教哲學 久松 四  
 哲學概論 三村 四  
 哲學學 三村 四  
 東洋哲學史 福島 四

選擇科目  
 社會思想史 高橋 四  
 日本史 藤本 四  
 政治學 松本 四  
 外國史 金子 四  
 宗教學 緒方 四  
 倫理學 池長 四  
 人文地理學 藤岡 四  
 地誌學 桑原 四  
 公衆衛生學 山田 二

教職課程  
 教育心理學 長尾 二  
 青年心理學 長尾 二  
 教育原理 山口 四  
 社會科教育法 味岡 二  
 宗教科教育法 桂木 二  
 道德教育の研究 山口 四  
 教育社會學 味岡 四

教育實習 味岡 四

教育心理學擔當の清水俊彦講師は和歌山大學轉出の爲め、專任助教として長尾憲彰氏に擔當して頂くこととなつた。法儀實習は森弘宗講師(專任)、梵語、佛教學特殊研究は高崎正芳講師(專任)。佛教學擔當小林圓照講師(專任)は8月中旬、印度東南部のボンデチェク市にある、オロビン・ソサイアテイの招待により留學された。布教學は桂木善啓講師が擔當された。

昭和37年度卒業論文題目

、佛敎哲學專攻

攝阿毘達磨義論の研究 山口 勝正  
 長老尼偈の研究 只間 康道  
 末法燈明記の研究 金子 祐治  
 智脱の「儒佛合論」について 福本 久俊  
 — 儒佛の異同に關する一考察 —  
 高祖道に於ける作務について 平田 卯村  
 寫岳灌頂の研究 越智 恒紀  
 法祖教學における禪觀 森 幸三  
 傳心法要の研究 佐々木元果  
 禪哲學專攻  
 潮音禪師の思想的研究 蓮尾 春堂

看禪に於ける起信の研究 原田 正澄

坐禪和讃について 岸 定己

至道無難禪師の禪風について 塚本 昌訓

絶觀論と牛頭思想 土谷 和征

楞伽經に於ける禪 井上 文雄

公案禪としての大慧禪の成立 松永 貫道

五ツのまなこ 堀本 滋

— 金剛經一 体同觀分第十八五眼を  
 手懸りとして — 木下 隆生

荷澤神會禪の研究 生玉 道雄

— 無念について — 松田 章

中國禪僧の般若心經註に 松田 敏彦

我國禪僧の般若心經觀 松田 敏彦

檀經と血脈論についての研究 渡邊 敏彦

東嶺禪師の神道觀について 篠本 忠泰

佛敎史學專攻 前田 廣心

黃檗禪僧の研究 前田 廣心

— 特に即非について — 運山紀久夫

應燈二祖について 運山紀久夫

— 開山無相大師遺誡を通じて — 藤田 忠良

西笑承兌と豐臣秀吉との政治的つながりについて 藤田 忠良

快川國師とその門流 内藤 一道

普明國師の研究 大谷 昌弘

鐵眼道光禪師の研究 相原 博仁

— 特に眞宗との論議について —

松浦藩の宗教政策について 堀田 禪昌

愚堂國師と妙心寺 渡邊 昌輝

榮西禪師について 馬場 記昭

東福寺開創について 沖 博隆

—聖一國師を中心として— 大原 光道

正眼寺と雪潭禪師

### 學術講演會

2月15日涅槃會記念講演伊藤古鑑教授の「涅槃會にちなみて」と題して講演會があつた。

5月25日、創立記念講演會は「禪の科學的研究」と題して、京都大學教授佐藤幸治博士の記念講演が開かれた。

11月12日、學園文化祭記念講演は京都大學教授猪木正道氏の「世界は動く」と題した講演會があつた。

12月7日、成道會記念講演會は「知性の谷間」と題して市川白弦教授の講師で開催された。

### 夏季禪學公開講座

7月11日より13日まで3日間、百丈懷海禪師一千五十年遠諱を記念して、公開講座を毎夕6時30分より本講堂で開催され

た。講座題名及び講師は左の通りである。

提唱、碧巖錄、百丈野鴨子、百丈大雄峯

百丈野狐 山田無文學 長

禪宗の伽藍について 大石守雄助教授

ヨーロッパの禪について 平田高士助教授

日本人の教育について 山口三郎教授

### 學 會

日本印度學佛教學會。5月4・5日日本大學において開催された。本學より

宗教史における禪の立場 西村恵信助手

大般若經信仰と葬送習俗 橘 恭堂助手

入法界品における蓮華湧出潭の意義 小林圓照講師

阿毘達磨集論の研究 高崎正芳講師

東漸建易と東漸略清規について 大石守雄助教授

大乘戒經としての六祖壇經 柳田聖山教授

佛道の研究方法論 西 義雄講師

佛教文學研究會、6月24日と大谷大學において開催された。本學より

禪宗假名法語の研究 大石守雄助教授

日本佛教學會 10月19・20日と四天王寺

學園女子短期大學において開催された。本

學より、

聖徳太子と達摩日本渡來の傳説をめぐり 荻須純道教授

禪學研究會、11月20日、本學圖書館三階

小講堂において研究發表會が開かれた。本

年は圖書館落成記念・禪文化研究所開所記

念の大會とされた。

天台止觀の本質と構造について

鷲坂宗演助手

回心の過程に於ける「暗」の性格をめぐ

つて 西村恵信助手

日本禪宗教團と葬送儀禮 橘 恭堂助手

大乘阿毘達磨集論について高崎正芳講師

日本禪宗寺院に關する考察 大石守雄助教授

禪錄翻譯餘瀝 平田高士助教授

佛頂和尚と芭蕉の禪について 石川良旦助教授

梅天和尙の禪風 横山文綱所員

中世文藝論における牛得と稽古について 藤 直幹講師

頂相について 森 鶴講師

社會病理學から見た迷信の問題 稻岡順雄教授

百丈の禪風 木村靜雄教授

東山下左邊底 柳田聖山教授

普請について 市川白弦教授  
榮西の一心戒について 荻須純道教授  
また本年より禪學研究會月例会を左の通り開催した。

4月例会(4月26日)

我が國に於ける大般若經信仰の概観

橋 恭堂助手

5月例会(5月16日)

晏茶羅の起源について 小林圓照講師

6月例会(6月18日)

禪と禪宗……新しい宗教學の動向をめぐりて……  
西村惠信助手

7月例会(7月9日)

大乘阿毘達磨集論について高崎正芳講師

9月例会(9月21日)

禪門における俳句的なものについて

石川良昱助教

10月例会(10月11日)

天台における二十五方便について

驚坂宗演助手

12月例会(12月4日)

頂相について 森 暢講師

1月例会(1月29日)

清規の書誌學的研究 大石守雄助教

なお禪文化は30・31の合併號で禪文化研究所創立記念號であり、32號は榮西禪師七百五十年遠諱特集である。

### 禪文化第30・31號目次

提唱 獨坐大雄峰  
百丈禪師について  
私はアメリカでいかに禪を語つたか  
禪學序説(一)  
禪畫と抽象繪畫  
クエーカーに教えられしこと  
禪文化研究所の發足に際して  
座談會・禪文化研究所に期待するもの

龍澤寺行  
正受老人門下嗣法の人々  
香道史抄  
玄峰塔開眼  
隨想  
禪寺巡禮 開善寺  
提唱 錫倒淨瓶  
開山を語る

### 禪文化第32號目次

山田 無文  
荻須 純道  
安藤 正瑛  
坂本 静一  
長谷部 好一  
西村 惠信  
山田 無文  
鈴木 大拙  
大津 眞一  
久松 檉堂  
山田 無文  
村上 慈海  
松倉 紹英  
桂 辰夫  
佐分 春應  
柴山 全慶  
陸川 堆雲  
一色 散郷  
幽石 敬人  
細田 源吉  
大石 守雄

竹田 無文  
山田 益州

榮西禪師の生涯  
榮西の日ごろ  
建仁寺の障屏畫と近代の畫家  
建仁寺案内記  
榮南禪師の遺蹟巡拜(畫と文)  
壽福寺  
九州路の榮西遺蹟  
興禪護國論について  
喫茶養生記について  
相抜け  
熟し柿  
建仁僧堂  
貧坊日記

### 禪文化第33號目次

提唱 牛過窓櫺  
禪に於ける信仰の問題  
座談會・禪と信仰  
山田 無文  
柳田 聖山  
森本 省念  
岸 興詳  
D、F、ケイ  
阿部 正雄  
金澤 純道  
荻須 純道  
坂本 静一  
竹内 尚次  
長谷川 三郎  
林 古鑑  
新田 大作  
山内 得立  
河野 琢禪  
野尻 弘

荻須 純道  
中村 直勝  
土居 次義  
伊藤 寅慎  
三上 益州  
三田 進  
大石 守雄  
古田 正欽  
荒木 紹胤  
大森 曹玄  
鎌田 禪商  
内藤 潮音  
青木 良一